

## 高校会議所が新体制

### 市長から会員に認証状

富士宮高校会議所はこのほど、第8回定期総会を西町レトロ館で開催した。須藤秀忠市長による会員認証式で令和5年度の新体制をスタートさせ、事業計画などを決めた。会員は23人で、8代目の新会頭は勝亦史さん(富岳館高2年)、チーフ副会頭は坪井琥珀さん(富士宮西高2年)。市が活動を応援していることから、会員たちは須藤市長から認証状を受けた。

学校行事のために欠席した勝亦会頭に代わって、坪井チーフ副会頭があいさつに立ち会った。先輩たちからの伝統を生かすとともに、自分の考えを取り入れながら、富士宮市のさらなる持続可能な社会づくりを実践したい」と意欲を示した。



認証状を手に意欲を膨らませるメンバー(提供写真)

来賓のあいさつでは、須藤市長が「これまでの高校会議所の皆さんとの活動成果は、市のま

ちづくりに大いに生か

されている。市として

も皆さんの活動に対し、

できる限りのサポート

をしていく」、地元の松山区健寿会の中村伸介会長は「西町商店街から富士宮市を活性化しよう」という取り組みには頭が下がる。今後も地元との交流をしながらの活動を期待している」と語った。

事業計画では、SDGs実践のオリジナル堆肥「マスマス元肥(げんび)」の活用、ベビーカー・チャイルドシートの2R、地域を元気にさせるアート・絵画・音楽)振興の三つの柱を継続し、各種事業の定着を図る。「地道な活動と高校生の視点で新たな取り組みを積極的に行い持続可能な会創りを目指したい」とした。